

映画の小箱

金で仕事を選択する弁護士、ジャン。ある日、工場汚水による環境問題に関わることになった。そして裁判への突入。やがて話は思わぬ方向へと展開していく。

『シビル・アクション』 金丸弘美=文
text by Hiromi Kanamaru

示談で金を稼ぐ弁護士 ある相談が彼の生き方を変える

民事事件を専門に扱う弁護士。彼らは裁判で闘うことを目的とはせずに、示談で解決することを最初から目指している。ようは、いかに金が取れるか。

主人公のジャン・ジュリクトマン（ジョン・トラボルタ）は、特に徹底している。「いちばん金が取れるのはなんだ。女性より男性。子供より働き盛り。それも白人。独身者より妻帯者。即死より苦しんで死んだ者」

示談に持ち込み、示談の金額が上がるぎりぎりまで交渉を行い、吊り上げるだけ吊り上げ、和解に応じる。金になるというものがない。いつもブランドもののスーツに身を包み、愛車は黒のボルシェ。

正義感あふれる弁護士の姿は、しばしばドラマにとりあげられるが、ジャンのように、目的は金、とすっぱり割り切つて堂々とこられると、いっそすがすがしい。

ジャンの弁護士事務所は三人の弁護士を抱える小さな事務所。事件はラジオから始まる。ジャンは、ローカルのラジオの法律相談をしている。そこへ郊外に住む主婦・アン（キャサリン・クインラン）から電話が入る。十五年前で八人の子供が白血病で死んでおり、それは工場からの汚水が原因ではないか、と言うのだ。その汚水の元凶といえる会社に謝罪を求めたい、と言うのである。

事務所の別の弁護士は「これはやるべき仕事だ」と言うが、財務を担当するゴードン（ウィリアム・H・マーシー）は「環境問題は時間がかかりすぎて金にならない」と反対する。もちろん、ジャンもやる気なし。ジャンが、アンをはじめとする親たちに直接会いに行くことにする。

「わたくしたちは、お金は必要ないんです。謝罪が欲しいんです」というアンの訴えに、

ジャンは「うちも人を抱えていますから、お金が取れない、採算が合わないことはできないんです」とはつきり断つてしまうのだ。

ところが、ジャンは帰り道に汚染されているという川と、その上流にある製皮工場と食品会社の工場を見つて突然考えが変わる。ジャンは工場を見た瞬間「これは金になる」と、訴訟をすることにす。

つまりは大きな会社が相手となれば、巨額の金が動くはず、というわけだ。そしてここから、大手会社の弁護士との丁々発止の闘いが始まる。「裁判ははつきり言つて戦争だ。だが、はつたりだ。ようは、ガキ大将の喧嘩と同じ。逃げたら負けだ」。

猛突猛進。ジャンに恐れはない。ここぞと攻め立てる。双方の会社から、弁護士が登場し事情聴取が行われる。工場に勤める社員は、だれも自分たちに不利な発言はしない。

ところが、汚水を流したという証言をする社員が現れた。会社にとっては不利。示談の交渉が持たれる。示談の額は、なんと二千五



ローヤルゼリー 進化論

高品質ローヤルゼリー

+

アガリクス茸

JRJの高品質ローヤルゼリーに、注目されるアガリクス茸を配合。それが進化したローヤルゼリー、JRJスプリウムローヤルゼリーAGです。

若い働き蜂の咽頭線から分泌されるローヤルゼリー。女王蜂はこのローヤルゼリーだけを食って、体長は働き蜂の2倍から3倍、寿命は働き蜂の1か月に比べ、3年から5年と長生きします。そして、生涯、毎日2,000個から3,000個の卵を産み続けます。この生命力の源がローヤルゼリーです。

JRJスプリウムローヤルゼリーAGは、最高品質のローヤルゼリーに「奇跡のキノコ」として世界的に注目されるアガリクス茸を配合。より積極的に健康を考える皆様にお応えしています。ぜひ毎日の栄養補給、健康維持にお役立てください。



JRJスプリウムローヤルゼリーAG

調製ローヤルゼリー

60粒 ¥35,000 / 150粒 ¥70,000 (消費税別)

健康しつかり。



ジェーアールジェー株式会社

本社: 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル17階
TEL. 03-3345-2888 〒163-0517



百万^{ドル}。ところがジャンは蹴つてしまうのだ。相手の弁護士はあきれ、同僚は啞然とする。ジャンの言い分は「俺たちをただのたかりやだと思つてやがる。そうじゃないところを見せてやるんだ」というものだ。そしてあつてはならないはずの、裁判へと

突入する。闘う相手の弁護士は、ハーバードで教鞭をとる老練なフアッチャー(ロバート・デュバル)。彼は裁判で、ジャンたちがすべての因果関係について、医学的、化学的にも実証できなければならないという状態へと持ち込んで行く。ジャンたちは、自分たちの財産

を注ぎ込んで、工場汚水と白血病の因果関係を現場から立証せねばならなくなる。展開は予想もつかないところへと広がり始める。ジャンはフアッチャーや別の弁護士から忠告を受ける。曰く「依頼人に同情するのは弁護士として失格だ。冷静な判断を狂わせる」。曰く「弁護士の弱点はプライドだ」。現実には理想通りには行かない。妥協があり、打算があり、取引があり、工作がある。現実を踏まえながら繰り上げられる、この戦いはスリリングでサスペンシフル。一挙手一投足に目が離せない。

『シビル・アクション』 A CIVIL ACTION

(1999年、UHF映画配給 アメリカ映画 シャンテシネにて公開中)

監督=スティーブン・ザイリアン

出演=ジョン・トラボルタ/ロバート・デュバル/キャサリン・クインラン